

村松先生の御退官にあたり

本郷逕子

村松先生。今年で先生はお茶の水女子大学を御退官とのこと。私は淋しい思いにかられます。

先生はNHKからお茶大においでになる前から、すでに外国語としての日本語教育に御関心をお持ちで、種々の経験も積まれ、平田先生御退官後には、適任であると頼もしく存じておりました。又、NHKのアナウンサーという極めてレベルの高い日本語を長年身につけていらっしゃったこともあり、お茶大にとっては貴重な存在でいらっしゃいました。

先生は、極めて礼儀正しく、対人関係には常に適切な距離を置かれる方で、私のようにがさつな者は先生と御話するだけで、私も見習わなければ…と常々思ったものです。

先生は、「日本語」に大変深い関心をお持ちで、次々に御本を出版なさり、「話しことば」と現代日本人のあり方、そして日本語教育のあり方へと、世に問うていらっしゃいました。こうした先生の知識、御関心がどれだけ大学での実際の御授業に生かされていったか、わたしは残念ながら細かくは存じませんが、きっと先生が御指導下さった個々の院生の中には、貴重な土台となる知識として定着していったものと思います。

今後も先生の御研究が順調に進められ、日本語教育の分野でも更なる御貢献をなされることを心より願っております。

御健康には、くれぐれも御留意下さいませ。

2004年6月